

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 8 月 13 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103726
法人名	有限会社 あけぼの会
事業所名	グループホームあけぼの
所在地	広島市南区皆実町1丁目13-2 (電話) 082-250-6923
自己評価作成日	平成 26 年 8 月 1 日
評価結果市町受理日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気を出すことで、利用者に自分の家にいるような安心感を持ってもらいながら、医療機関と随時連絡、往診して頂き心身ともに健康的に過ごしてもらっている。

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	
------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島
所在地	広島市東区福田1丁目167番地
訪問調査日	平成26年8月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

○「家庭的雰囲気・・・」の理念が徹底されている。
利用者には、肩寄せ合って家庭的に暮らしてもらおう。決して無理強いせず、時間がかかっても、自分でやれることはやってもらおう、出来ることの喜びを感じてもらおう。そんな当たり前の暮らしが目指されており。管理者以下全職員に徹底され実践されている。
○合理的な計画策定とモニタリングの仕組みが定着し、継続されている。
計画づくりやモニタリングは、管理者やケアマネ任せにせず、「ケアチェック表」を使った全職員参加型で行われており、職員の責任意識を高めている。
○街中、閑静な住宅街にあり、昨年改装された。住み慣れた街の家庭的な雰囲気の中で、散歩など外出機会を増やししながら、元気に暮らすことが実践されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念「家庭的な雰囲気を楽しむいきいきと豊かな毎日を支援します」と毎朝ミーティングで唱和し職員にも浸透し、実践している。	発足以来の事業所理念が設定されている。玄関や事務所に掲示すると共に、毎朝唱和するなど、全員が常に意識し続けるよう徹底がはかられ、利用者が元気で生き生きと家庭的に暮らせるケアが実践されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事(盆踊り、花植え、とんど等)に参加するとともに、地域ボランティアの方々に来て頂き交流を行っている。散歩の際に気軽に挨拶を交わすなど常に地域との関わりを持っている。	町内会に加入し、地域の行事(盆踊り、花植えなど)にはできるだけ参加し楽しみながら、交流している。またボランティアの来訪による演芸を楽しんだり、チラシを配って事業所行事を案内して、来所を促すなど、地域とのつながりが深まるような取り組みがなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザーの資格所有者が公民館等で講演を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、議事録をまとめ市へ報告している。地元老人会、地域包括センター、民生委員、家族から参加頂き現状報告や課題について話し合いサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催している。参加者は地域の方、老人会の方、民生委員、地域包括職員、ご家族(時に消防署職員、警察官)などで、事業所の近況報告、行事内容や予定案内の他、災害対策など必要な課題を取り上げている。貴重な意見や助言をいただきサービス向上に活かしている。	町内会の方にも参加いただけるよう、働きかけを望みたい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	サービスに関する相談や空室、利用希望者の情報交換について市と連携を図っている。	市の担当窓口とは日頃の届け出や相談を通じて、良好な関係維持に努めている。地域包括センターとは、利用希望者の情報交換など強い連携関係にある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	昨年、改修工事を行い、玄関のみ電子キーでのロックがかかっている。しかしそれ以外での身体拘束は行っておらず、代替案にてケアを行っている。	研修参加や内部での勉強会なども行い、意識徹底をはかっており、身体拘束は行われていない。建物改装後は2、3階を使用している。狭く急な階段を使用するため、出入り口は危険防止上、ご家族の了解を得てやむを得ず施錠している。利用者の外出希望には敏感に対応し、一緒に外出している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部への研修に行き研修報告を行い、事業内部でも研修を行うことで職員一人ひとりが理解し防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	内部の認知症ケア研修で法制度について学んだり、現在利用している利用者への支援を行っている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約の際は十分な説明を行い、疑問点、不安点については早期解決を目指し理解、納得して頂けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2ヶ月に1回運営会議にご家族をお呼びし、民生委員、地域包括等と話し合いの機会を設け今後の運営に活かしている。また年に1度家族会を開催し家族より意見を頂く機会を設けている。	面会時や電話での話し合いの他、運営推進会議や家族会議で自由に意見が出せるよう工夫(アンケート実施など)している。毎月、職員の自筆のお便りやあけぼの新聞で利用者の暮らしぶりも知らせしている。ただし、利用者の半数近くは、事実上の独居者であり、意見を聞きたくても聞けないのも寂しい現実。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1ヶ月に1回ケア会議を開き職員からの意見や提案を聞き職員全体で話し合い運営に反映させている。	毎月のケア会議のほか、日常の業務や雑談を通じて、お互いに話しやすい職場づくりに努力されており、職員からは率直な意見が出されている。意見や提案は、可能な限り取り上げ運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出来るだけ職員一人ひとりと話をし、解決策がある場合は策に努めている。又年に1度昇給等も行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の力量、経験年数にともなった法人外の研修を受ける機会を設け介護ケアの向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会等に参加し、同業種との意見交換し互いに問題解決提案策を出し合い自事業所に持ち帰り検討し取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始前より本人とアセスメントすることで本人の訴えを聞き、信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス開始前より家族の不安点、困っていることを傾聴することで信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント後情報をもとに職員を交えて利用者が必要であるか見極めてサービス提供にあたっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者に対し尊敬の念を念頭におき、喜怒哀楽を共に感じることで関係を築いている。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の状況を電話や毎月の手紙、季節新聞又面会時でお知らせすることで情報を共有し、共に利用者を支えあっている関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の了承を得た上で本人と面会したり馴染みの人との縁を絶やさないよう支援に努めている。	ご家族や信頼できる知り合いにはできるだけ来てもらい、ゆっくり面談してもらえるよういろいろ配慮している。買い物や行きたい場所の希望が出れば、ご家族とも相談しながら実現させるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士で雑談をしたり、レクの参加や散歩へ行くようにしており、利用者同士が関わり合う機会を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じ本人家族からの相談にのっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや希望については傾聴し意向に沿うよう努めているが、困難な場合は話しを傾聴し、気を紛らわすよう他の提案を行っている。	入居時、利用者、ご家族から聞き取った思いや意向はアセスメントシートに記載されている。その後も、日常ケアを通じ把握に努め、「個人記録」や「日誌」に記録し、職員で共有し、日常のケア活動や計画見直しに活かしている。	思いや意向を記録する際、わかりやすための工夫(文字の色を変えるなど)を望みたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	前任のケアマネや家族から本人の様子を聞きサービス利用への向上に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご自分で出来ることは行って頂き、個々の生活、能力に合った1日の過ごし方を提案している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人のニーズを基に家族からの要望をお聞きし、ケアプランを作成し、話し合い意見を反映させている。	入居時、本人のニーズやご家族の要望を聞き暫定ケアプランを策定。1か月程度経過後、状況を見た上でケア会議を開き、職員で充分話し合っ本格ケアプランが策定されている。その後は、「ケアチェック表」を使った毎日の進捗フォローと、3か月毎に職員による話し合いで、モニタリング評価が行われている。この結果にもとづき必要な計画見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者の様子、状態を常に観察し、疑問点や気づきについて職員間で話し合い試験的に行いその結果を見直すことで次のプランニングに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	様々なニーズに対応できるよう職員間の連絡、相談、報告を行いその時々サービスの対応にあたっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事に参加することで心身ともに地域と一体化してもらい、暮らしに楽しみを持ってもらうようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所前に事前に本人かかりつけ医を確認し、本人及び家族の希望のもと納得が得られた場合は事業所協力医の指示のもと適切な医療が受けられるよう支援している。	本人、ご家族が希望すればこれまでのかかりつけ医でも受診することはできるが、現在はご家族の了解を得て、近隣の協力医に全面依頼している。ほぼ毎週の往診と必要時の対応など適切な医療が受けられる体制にあり、ご家族からも信頼されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	1/2w協力医が往診している。それ以外でも随時連絡を取り合い、往診に来て頂いている。その際、個々の利用者と会話、訴えを聞き、職員より現状を聞き適切な診療や看護にあたってもらうように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設を入院等する際は、利用者の情報を記した「退所要約」「現状時要約」を文章で渡し、その後も質問や相談を行うことで病院関係者との関係作りをスムーズに行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですること十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	同意書等の作成は行っていないが、事業所ですること十分に説明、理解して頂き、その後のケアについては綿密な話し合いを行っている。	重度化した場合の対応については、入居時、事業所としてできることを説明し、理解してもらっている。その後、利用者の状況変化があった時点で、主治医をはじめとした関係者で話し合い、対応方針を決め、可能な限り望まれるケアになるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時のマニュアルは常に事業所に掲示している。又ノロウィルスの対応については発生前に事前学習を職員全員で行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制を築いている。	防災訓練を年2回以上行っている。その際、夜間の対応、地域への協体制の確認を行っている。	年2～3回、夜間も想定した消防避難訓練を実施している。うち1回は消防署の指導のもとで実施し貴重なアドバイスをもらっている。ご近所の方にも訓練に参加してもらっている。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、年長者として敬い又プライバシーに配慮した声掛けを行っている。	誇りやプライバシーを損ねない、一人ひとりに配慮した、声掛けや対応に努めている。無理強いをしない、出来るだけ自分でやらしてもらおうケアが実践されている。個人情報には施錠可能なロッカーに保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の希望や思いは常に聞いている。しかし、常に希望に沿うことは難しいため話し合いを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人のペースや希望に沿い柔軟な対応にあたるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の愛用している化粧品をご家族に持ってきて頂き、身だしなみに気を遣っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご自分でできることはやって頂くよう、簡単な作業等を見守り、介助のもと一緒に行っている。	社外委託だが、必要な利用者には適宜アレンジした食事が提供されている。スペースの都合で一緒にの食事はとれないが、適切な見守りと介助がなされており、ゆったりした穏やかな食事時間となっている。できる利用者には、準備や片付けを一緒にやってもらっている。クッキーやおはぎづくりを楽しむこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量を把握し、一人ひとりの健康状態を観察し、それに見合った支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食、声掛け、見守り、誘導にて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、失禁がないよう定時トイレ誘導行い自尊心やプライバシーに気を遣った声掛けを行っている。	一人一人ひとりの排便パターンを把握し、出来るだけトイレで座って排便してもらい、紙オムツは使わないよう支援している。褒めてやってもらうよう心掛けており、効果を上げている。また、水分摂取量不足にならぬよう注意している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事摂取量や水分量を把握した上で、体操や散歩、マッサージ等の個々に応じた対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	現在施設では曜日や時間帯の決まっているときに入浴して頂いている。	夏場は週3回を目途に、月、水、金、一人ひとりゆったりと入浴してもらっている。嫌がる利用者にも決して無理強いせず、職員を変えて声掛けするなど工夫もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣や状況に応じたりズムを支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	協力している薬局より薬剤師に薬の説明を受け、他職員に連絡を行い、用途、使用についてその都度理解、確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個人のペースに沿いデイケア利用や気分転換の行事、家族との外出を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望を聞き、家族に伝え協力を仰ぎ、本人の希望にあった場所へ出かけられるよう支援している。	天気の良い日には、ほぼ毎日、暑い日には朝早く、太田川河畔や近所の散歩に出かけている。その他、買い物、外出行事、外出レクなど、ご家族にも協力いただきながら、出来るだけ外出機会を増やすよう積極的に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理はお金を置いた場所を忘れる等のトラブルの原因ともなるため所持はしていない。外出時に渡し、職員見守りのもと買い物を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自ら電話をかけることはできないが、外よりかかってきた場合はその都度対応している。家族等から本人へ届いた手紙はその都度渡している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者にとって居心地良く、安心感が持てるよう配慮した配置を行っている。	キッチン一体型の合理的なダイニング・キッチン、やや狭いが家庭的で使い易そう。明かり、温湿度も適切に管理され、混乱を招くようなところもない。季節感も大切に、3階には、利用者の作品も飾られている。食事時間が近づけば、懐かしい台所の音や匂いが漂う、利用者が家庭的な雰囲気包まれ安心して過ごせるよう工夫されている。	(調査員の要望) 1階空きスペースの活用を検討されているようだが、是非、事業所のユーティリティスペースとして整備され、行事及びリハビリスペースとして有効に活用されることを期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂、廊下の2ヶ所にて対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が以前家で使っていた小タンスや家族との写真を持ってきて頂くことで本人が馴染みのある居室を作りだしている。	使い慣れた生活用品や家具が持ち込まれている。思い出の写真などの他、仏壇やテレビなどを持ち込み、馴染みの自室を再現された部屋もある。どの部屋も、清潔で居心地よく過ごせるスペースとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室内ではクローゼットの設置により自ら進んで衣服を選んで頂けるよう工夫している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

3 サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。
「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	② 利用者へのサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した
		<input type="checkbox"/>	⑤ その他 ()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	⑤ その他 ()
3	外部評価（訪問調査当日）	<input type="checkbox"/>	① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	④ その他 ()
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	<input type="checkbox"/>	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	③ 市町へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	⑤ その他 ()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	① 職員全員で次のステップに向けた話し合い、「目標達成プラン」を作成した
		<input type="checkbox"/>	② 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力やモニター依頼した（する）
		<input type="checkbox"/>	③ 「目標達成プラン」を市町へ説明し提出した（する）
		<input type="checkbox"/>	④ 「目標達成プラン」に則り、目標を目指して取り組んだ（取り組む）
		<input type="checkbox"/>	⑤ その他 ()

2 目標達成計画

事業所 グループホーム あけぼの

作成日 平成 26年 8月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価をもとに職員一同で次のステップへ向けた取り組み目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎにならないよう、事業所の現状に合わせた取り組み課題を取り上げ、優先順位を決め目標達成に向けた具体的な取り組み内容を記入してください。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	1階の空きスペースが有効活用できていない。	1階の空きスペースを施設内の行事ごとや近隣の催し物を開いていく。	施設内の合同の行事や近隣の催しものを開いて頂けることを運営推進会議等で利用できることを認知してもらう。	1年
2	23	利用者の意向や思いを職員が共通認識として理解する。	職員が利用者の思いや意向を意識して理解する。	利用者からの思いや訴えを聞いた時は色つきペン等で記録し職員がわかりやすいよう記録する。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。